

新撰地理小志字引

長谷川福太郎編輯

上

大日本教育會館			
二	六	三	四
冊	八	架	函
	號		

特32

244

022005-001-7

特32-244

新撰地理小志字引

長谷川 福太郎 / 編

M18

ADA-0278



長谷川福太郎編輯

上帙

# 新撰地理小志八千字

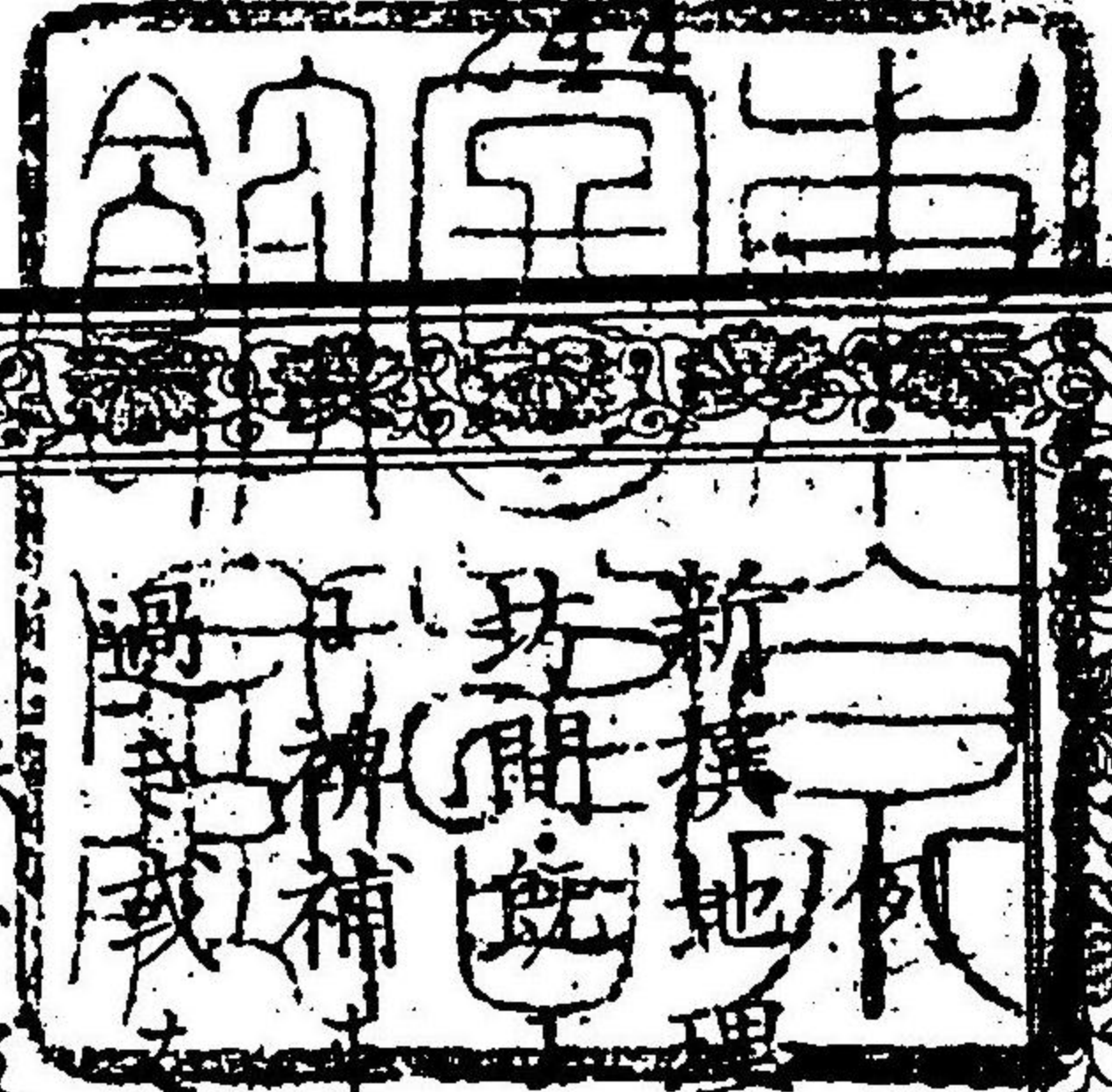
三書房發兌

定價拾貳錢

## 例言

新撰地理小志の小學教科書に用ひらるゝや  
 坊間既ニ數種の字書を出版して兒童の復習  
 には裨補をること少らばと雖も或は冗長不  
 過き或は簡短は失し兒童の望を缺くの憾お  
 き能ハば是れ此著の作る所以なり  
 一體裁ハ本志中讀難く解乏易かるぬ地名物  
 名熟語を追次ニ摘録拔萃して傍訓解釋せし  
 むるなり

一此書ハ専ら兒童の復習ニ裨益すふ爲なり  
 ハ其會得一場あらんことを欲して其語の卑



言

小志の小學教科書に用ひらるゝや  
數種の字書を出版して兒童の復習  
ること少らざると雖も或は冗長小  
簡短に失ふ兒童の望を缺くの憾お  
き能はば是れ此著の所以なり

一體裁ハ本志中讀難く解乏易かるぬ地名物  
名熟語を追次小摘録拔萃して傍訓解釋せ志  
をばなす

一此書ハ専ら兒童の復習に裨益する爲なれ  
ハ其會得一易ららんおやを欲して其語の鼻

新撰地理ハ本志第一卷第一

上序

近を厭たば  
 一書中□ハ丁數の符ふして其の順序を明瞭  
 に一以て搜索し便ならしむ  
 一普通の法に從ひ地名ハ双線を施し人名を  
 單線を施し又圖畫を挿入して兒童の捷覽に  
 供は

編者識

明治十七年十二月

京都前田觀泉社刊

# 新撰地理小志字引卷之一

長谷川福太郎編輯

## 第一卷之部

### 第一章 世界

一 汝余の球形地球儀○稱擬外面住居

廣大容○統○庭園 夥多家屋 二 我郷

一小隅 更ニ高丘 原野

渺茫山嶺 遙○雲際 地方

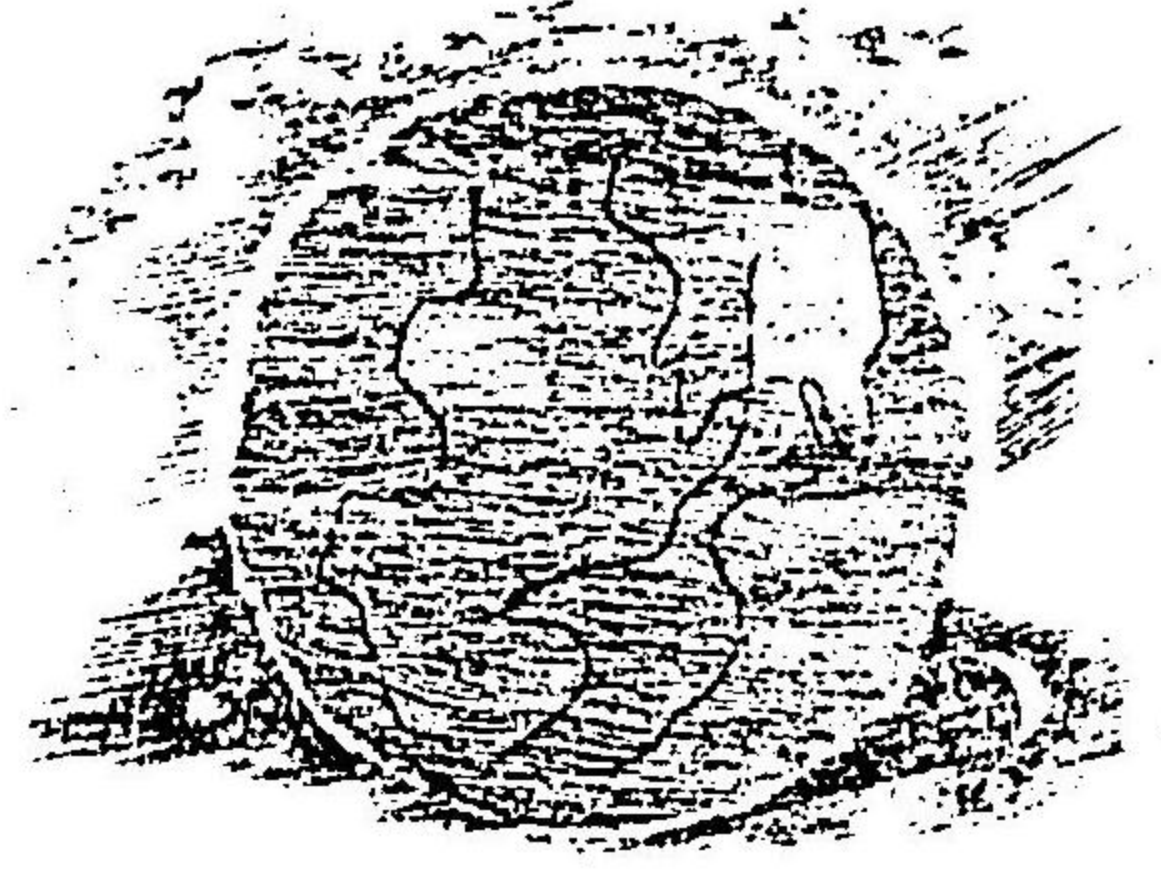
一點の畢竟方一里 區

恰橙子○皮面一凸處 旅

費○一周一小部 全形

天空懸○支ふる 三 委き○遊

天空懸る地球



歴リ風俗フウソク觀察カクサ地理チリの學ガク  
ヨシシルルガガンンセセン

第二章 世界の續

顧コ○乾ケン坤コン巽シユン艮ガン輝輝キキ光彩カク遂スイ隱イン○

周シュウ圍ウイ回クワイ行コウ○否ヒ回クワイ轉テン更ケル更ケル○晝チウ夜ヤ一イチ穗ス

燭シュク火カ燭シュク光カウ徐シュウ變ヘン化カ波ハ臥フイ床トウ反ヘン對テイ

亞ア美メイ利リ加カ○旭キョク日ジツ相サウ伴パンひヒて

運ウン行コウ其ソノ狀シヨウ獨ドク樂ラク○環ワウ○二ニ

種シュウイイロロ運ウン動ドウウウゴゴク

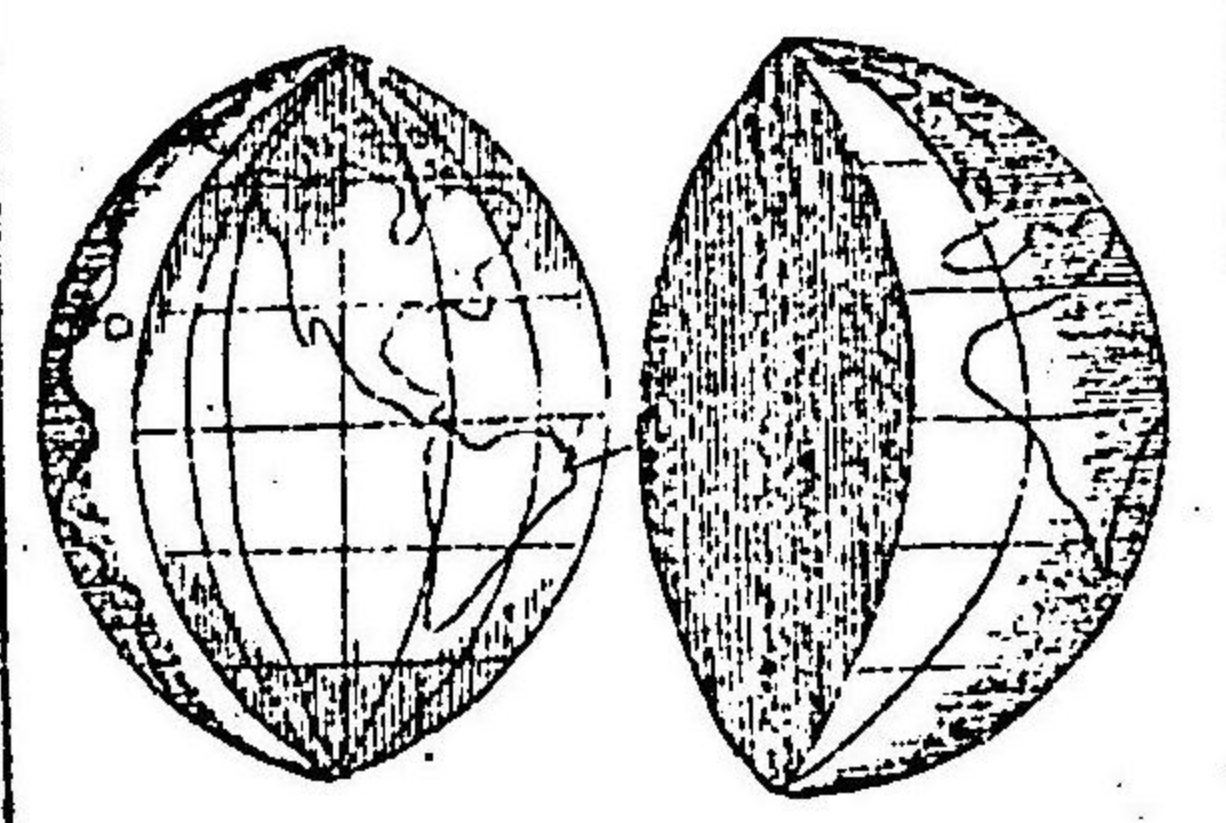
第三章 世界の續

圖ツ○顯ケン○書ショ籍セキ紙シ面メン團ダン圓エン○

如イ何カンせセんンやヤ真マ中チュウ○平ヘイ面メン描ガク

六ロク五ゴ彩サイ彩サイ色シキ陸リク方ハウ角カク○常ジョウモモ

地球儀を割りて半球を製する式



頂テイ上ジョウ下カ底テイ東トウ大ダイ陸リク○南ナン大ダイ陸リク○無ム數スウ義ギ亞ア細コ

亞ア○歐オウ羅ラ巴バ○亞ア弗フ利リ加カ○區ク別ベツ蒙マウ古コ人ジン種シュウ○皮ヒ膚フ○

黃ワウ色シキ○生セイ育イク古コ代ダイ隆リウ盛セイ最モウ高カウ加カ索ソク○知チ識シキ富フ

工コウ藝ゲイ巧コウ○壯サウ麗レイのノ家カ屋ウ○當トウ今キン樂ラク土ト○半ハン

鮮セン美メイのノ食シキ物モノ○當トウ今キン樂ラク土ト○半ハン

島シマ○周シュウ邊ベン殆タイ○圍ウイ○僅ケン○以イ日ジツ阿ア比ヒ人ジン○七シチ散サン布フ○阿ア

西セイ亞ア尼ニ○區ク域イク馬マ來ライ人ジン種シュウ○棕ソウ色シキ西セイ大ダイ陸リク○閣カク龍リウ○

率ソツ○茫マウ々ツツ大ダイ洋ヤウ○航カウ海カイ世セイ人ジン○新シン大ダイ陸リク○

希セイ世セイ○豪ガウ傑ケツ○舊キウ世セイ界カイ○對タイ印イン

希セイ世セイ○豪ガウ傑ケツ○舊キウ世セイ界カイ○對タイ印イン

希セイ世セイ○豪ガウ傑ケツ○舊キウ世セイ界カイ○對タイ印イン

希セイ世セイ○豪ガウ傑ケツ○舊キウ世セイ界カイ○對タイ印イン

希セイ世セイ○豪ガウ傑ケツ○舊キウ世セイ界カイ○對タイ印イン



高加索人



以日阿比人

旬 ○銅色

アカガネ 樹林

イロ 樹林

シヤ 漁獵

ケモノト 生計

を 營む

ヲ 繁殖

概 概

概 概

概 概

概 概

概 概

概 概

印 荷



馬來人



蒙 古人



北極の邊

の邊

○北極洋

○水派洋

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

較

第四章 世界の續

縦横線 ○緯線 ○經線 ○素 ○想像 ○圈線

位置 ○距離 ○要用 ○中央 ○大圈

赤道 ○北辰星下 ○一點 ○反

對 ○十 ○湊合 ○元 ○子午線 ○略

尚 ○四條の點線 ○夏至線 ○北

極圈 ○冬至線 ○南極圈 ○現

半圈

第五章 世界の續

熱帶 ○氣候 ○炎熱 ○地方 ○酷暑 ○燔

○溫帶 ○廣遠 ○溫和 ○春 ○夏 ○秋 ○冬

○諸國 ○草木 ○芽を萌 ○百花 ○笑を含

○李 ○諸國 ○草木 ○芽を萌 ○百花 ○笑を含

李

諸國

草木

芽を萌

百花

笑を含

李

諸國

草木

芽を萌

百花

笑を含

み ハナノサ 雁 ノナ 寒地 ハコロ 暖 ヌク

所 アタハカナル 禽鳥 トリ 声を弄 コエ

偶 オキス を求 モトメ 巢 ツガヒ を満 ツル

目 メニ 春光 ハルノ 愛 アヒ す可 ベ く

耕 カウイ 種 タネ を下 タ す

觸 シヨク 目の光景 メニフル 榮 エイ を競 ケン

ひ ワレ 實 ミ を結 ムス び

解 ト 巢 ス を解 ト け

稻 イ 田 ノ 耘 ヒキ カル 隴 ラウ 麥 マク

刈 カ 〇 熟 ジュ 去 サ り

實 ジツ 〇 熟 ジュ 怡 ココロ 〇 農家 ノウカ

収 シウ 獲 ワツ 〇 忙 マシ 〇 露 ツユ 結 ムス び

雲 クモ

凍 コホ リ 黄 コウ 落 ラク 氷 コホリ を結 ムス び

鎖 シ 〇 火 カ 爐 ロ 擁 ヨウ テ 陽 ヨウ 氣 キ 復 カフ

寒 カン 帯 タイ 〇 寒 カン 冽 レツ 終 シュウ 古 コ

鳥 トウ 獸 ジュウ 異 イ 同 ドウ 性 セイ 質 シツ 懶 ラン 惰 ダ

天 テン 然 ゼン 成 ゼン 熟 ジュ 野 ヤ 獸 ジュウ 〇 猛 マウ

生 セイ 長 テイ 身 シン 體 タイ 健 ケン ウブ 智 チ 慮 リョ

絹 ケン 布 フ 毛 モウ 布 フ 馬 バ ウマ 牛 ギウ ウン 羊 ヤウ

不 フ 快 クワイ 矮 ワイ 屋 イツ 土 ド 窟 クツ 〇 愚 イ 鈍 ドン

海 カイ 狗 コウ 各 カク 所 ショ 〇 礦 カウ 物 ブツ 〇 金 キン

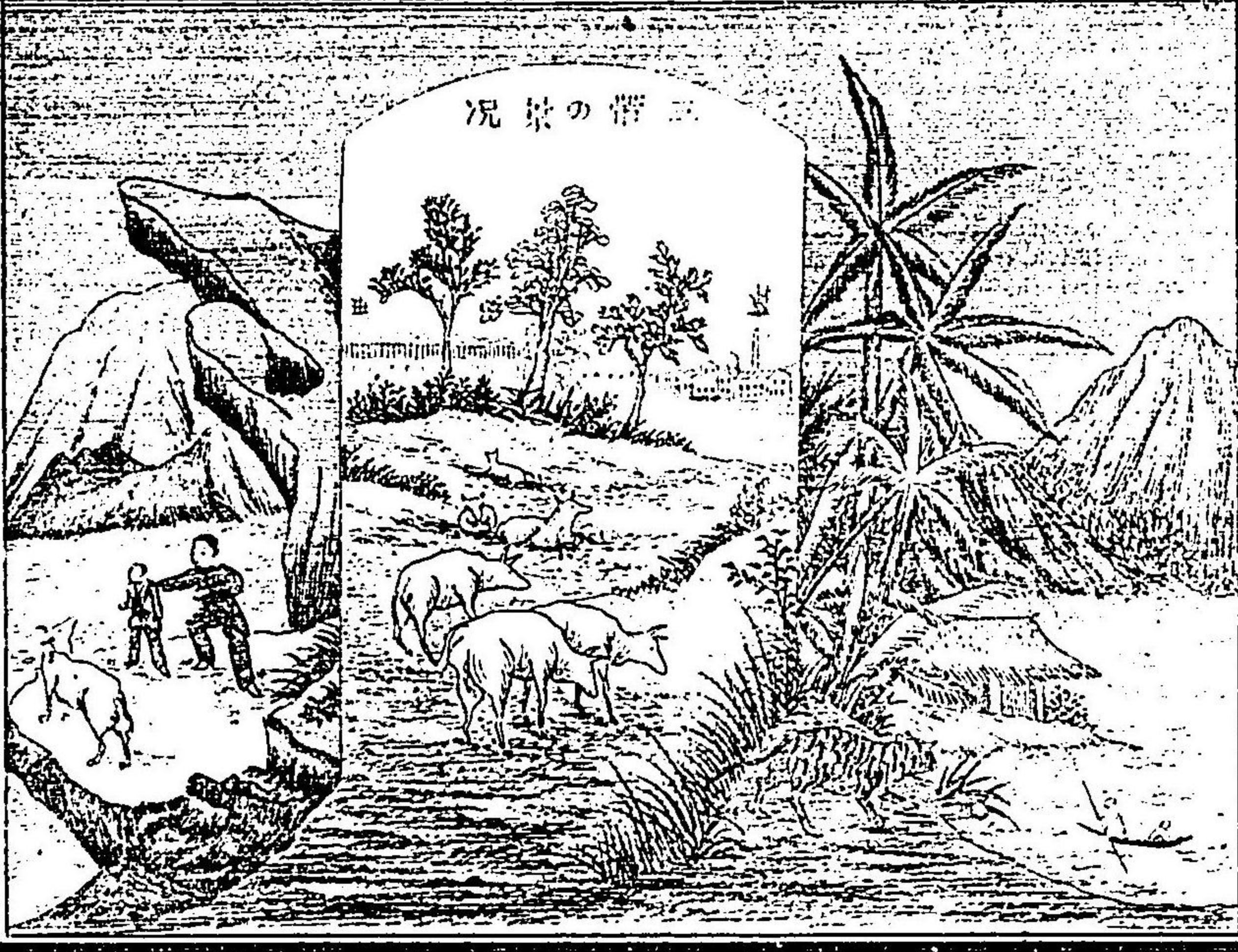
玉 ギョク 〇 青 セイ 玉 ギョク 〇 石 セキ 炭 タン 〇 燃 エン

〇 薪 シン 〇 充 チウ 〇 充 チウ 〇 充 チウ

談 タン 話 ワ 曾 ソウ 親 シン 〇 地 チ 理 リ 學 ガク

第 ダイ 六 ロク 章 シヤウ 各 カク 國 コク 志 シ 緒 キョク 言 ゴン

緒 キョク 言 ゴン



古抑ソレ互ワタリ○狭セマ○著名チヨウメイカキナダ邦國クニニ屈指シヅメチリユビ海ウミ山ヤマ障塞サマシ

古代コノコト交通ツウカウの境サカイノトコロ 東洋トウヤウ

人ヒトニノヒト 西洋人セウヤウジンヤウロツバア 平原ヘイケン

方カタ形カタカスチ 巨大キョウダイふる亀カメオホキナ

背上セナノ象頭ゾウノカ 王キニ暫時シヅメレバラク

汽船キセン○汽車キシャ○容易ヨウイノ海路カイロ

達ツキ時トキを得エテオリガア 周遊シュウユウノゾブ

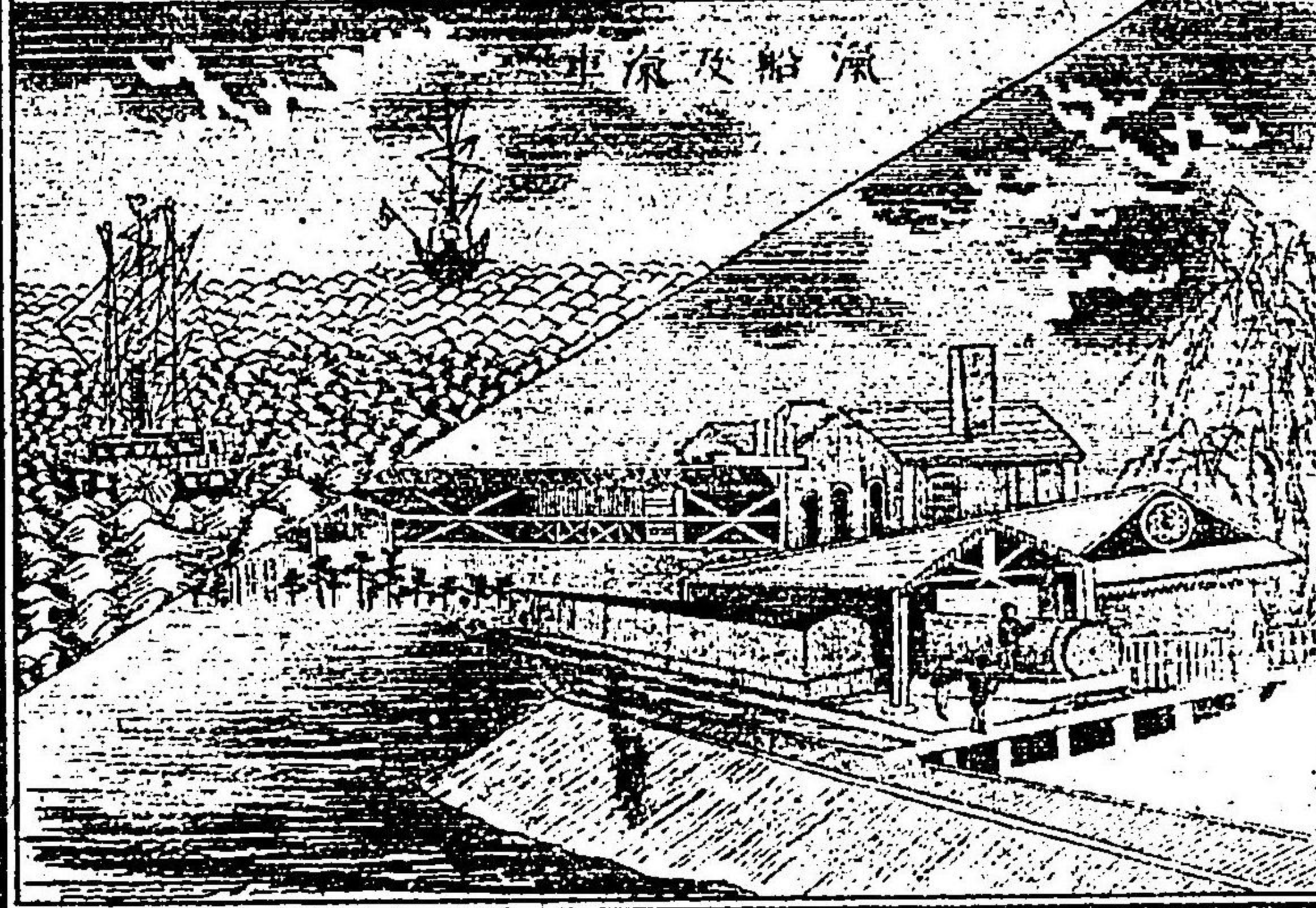
高山コウサンノ大ダイ江カウノ人煙ジンエン

繁盛ハンセイ都會トウイノ風光フウカウ秀麗シュウレイノヨキ

探サツ古人コノヒトノ遺跡イセキノ俗ゾク目メ

新アタラふる者モノノ愉快ユクアイノ幼コウ

釋シヤクノ満足マンダクノ熟覽ジュクランノ天テン水スイ



陸リクノ位置チリドコロ 山河サンカノ形勢ケイセイアリサマ 記載キザイセル 中心チュウシンノナカ

存ソンノ四邊シヘンノ黒線コクセンノ密畫ミツガハシノ天邊テンヘンノ山岳サンガクノ測量圖ソウリョウズ

山趾サンシノ山脈サンミツノ山脈サンミツノ理會リイノ測量圖ソウリョウズ

種類シュルイノ主眼シュウガンノ天邊テンヘンノ山脈サンミツノ理會リイノ測量圖ソウリョウズ

撒チ○沙漠サハ○沙原サハノ首府フフ○符フノ政府セイフノ政府セイフ

第七章 日本志

大意ダイイノ尤愛ユウアイノ自國ジクニノ關係ケイカノ密ミツノ肝要カンヤウノ數スウ

月ゲツノ珍奇チンキノ事實ジツジノ蝦夷セエノ中土チュウトノ四國シクニノ九州クウシュウノ琉球リウキウ

球キウノ部内ブナイノ總稱ソウショウノ相對ソウタイノ朝鮮チョウセンノ魯西亞ロウシアノ滿洲マンショウ

州シュウノ支那チナノ支那チナノ千島センシマノ斷續タンジツノ堪察加カンサカノ密通ミツツウノ散布サンブ

臺灣島タイワンノ附近フキンノ小笠原島コガサハラノ一イチ群クンノ島嶼シマノ地勢ヂセイ

坤良コンリヤウノ秀シュウノ二脈ニミツノ數派スウハノ屈曲クツクノ連延レンエンノ富士フジ



山○名山ナダカキ表オモ○聳ソウ○倒サカサマ○棒砂糖バウサツドウ○琵琶ヒバ

湖○凹處コボロ○港ミナト

利根川○信濃川○

水曾川○石狩川○

平原ヘイゲン○**三**實況ジツキョウ○

地味チミ○一般イツパン○肥沃ヒョク

穀物コクブツ○魚類イサノ

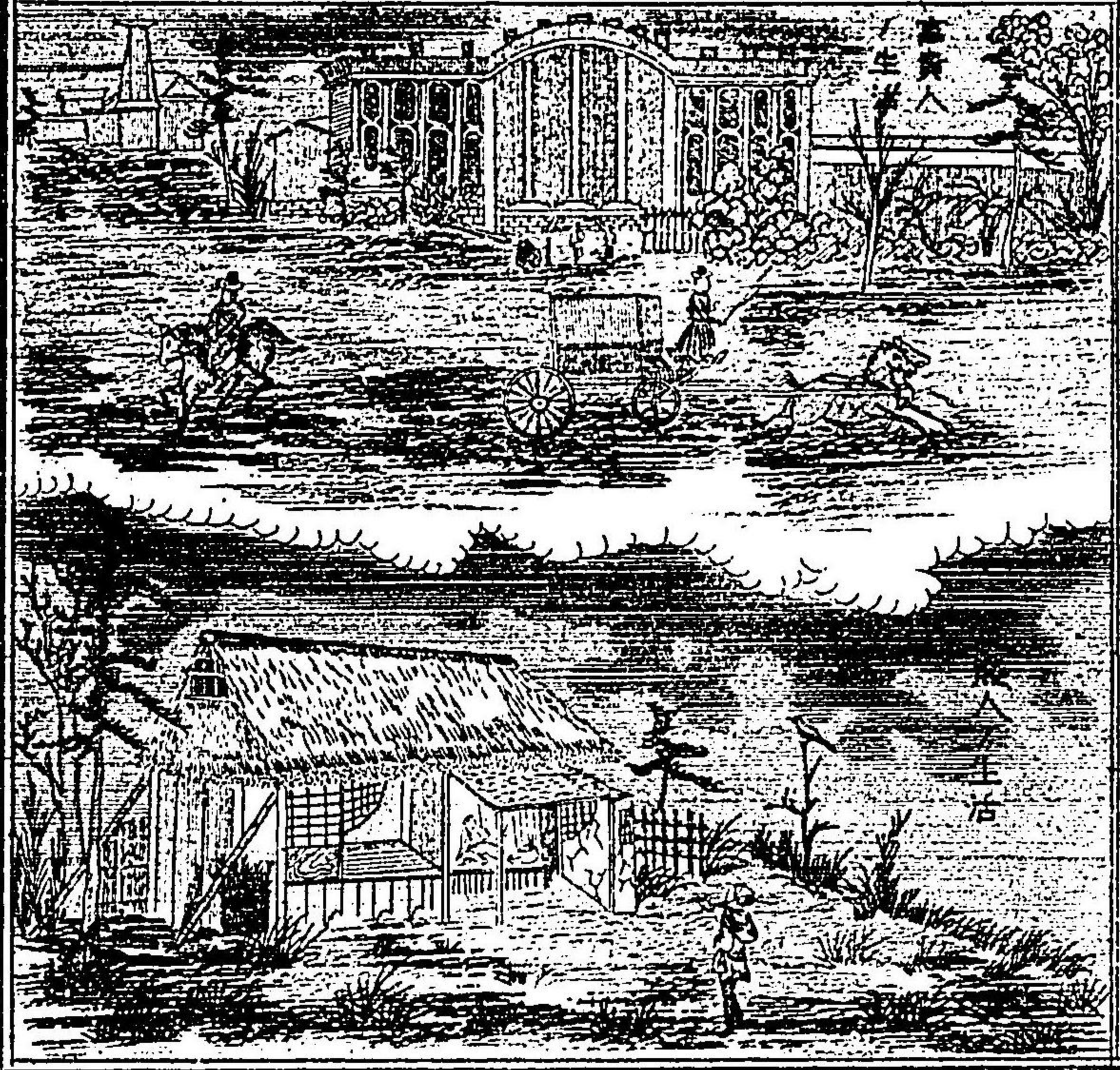
獸類ベシ○材木サイキ○果クワ

物モノ○礦屬カウゾク○人生ジンセイ

必用ヒツヨウ○茶チャ○生絲セイシ○

絹帛クワン○陶器トウキ○漆器シキ

名譽メイヨ○無用ムヨウ



人煙稠密ジンエンチウミツク○**華族**○士族シシ○平民ヘイミン○等級トウジツ○**族**○富フ

貴キ○清雅セイカ○袴ハカマ○羽織ウオリ○帽カッパ○靴カウチ○穿ウケ○馬ウマ

車クルマ○田舎間テンカマ○貧賤ヒンケン○**卑**○**矮**○白屋ハクヤ○**四壁**○粗雜ソゾク

粘土ネリ○茅カヤ○藁ワラ○床ユカ○蓆シヤ○**水綿**○**麁**○**服**○**半纏**○**股**

引ヒキ○笠カサ○手巾テヌ○草鞋ワラジ○生活セイゴ○高下タカシカ○**自奮**○**修**

研ミカク○畿内キナ○東海道トウカイダウ○東山トウサン○北陸ホクリク○北海ホウカイ○山陰サンイン○山ヤマ

陽ヤウ○南海ナンカイ○西海サイカイ○大別ダイベツ○**紅色**○**帝都**○**分劃**

奧羽ウチノ○州シユウ○學力ガク○**進歩**○**詳細**○**期望**

第二卷之部

第八章 日本志ノ續 畿内

一山城○大和○河内○和泉○**摂津**○**境域**○淡路島

○内海○抱カカ○**茅葺**の海○**重疊**○**簇**○**國見山**○大

臺原山○大峯○横嶺ワカレタ 縱横ヨコタテ 蔓ヒトケ○比叡山○金剛

山頗○淀川○大和川○大抵オホホ 宇治川○加茂○桂○

水津○**三**運漕ウツク 吉野川○中和チクワ 縱令ヨコキカ ○極寒キハノテ

冰點ヒツノコロ 西陣織ニシジンオリ ○錦ニシキ ○縮緬チヂミ ○金欄キョウラン ○緞子テンシ ○羽二

重シヅメ ○清水シメヅミ 燒ヤキ ○石材イシ ○奈良ナラ の晒布シヤヒ ○神武天皇○檀原

○歷代レキダイ 名所ナショ 古跡コセキ 愉ユ ○落オチ ○京都キョト ○街衢ガイコ

マチ 清潔ケツセツ 一帯イツタイ 丘陵キョウリョウ 東山トウサン ○寺院ジヤン 幽邃ユウスイ 林

泉イヅミ ○西山シサン ○嵐山ランサン ○紅ベニ

葉ハ ○高雄コウコウ ○勝景シヤウケイ **三**

淑シュク ○伏水フクスイ ○名邑ナグカキ **三**

奈良ナラ ○東大寺トウダイジ ○大佛ダイブツ ○

春日カスガ ○社地シャチ 吉野山○



櫻花オウゴン 南朝ナンテウ ○皇居コウキョ 大和巡ダイワジユ ○山坂ヤマサカ ○踰コエ ○裏ウラ ○捕ト

正成マサナリ ○北條氏キョウジョウシ ○城趾シヤウジ ○堺サカイ ○大坂オオサカ ○人口コウコウ 通商ツウショウ ○

豐臣トヨトミ 太閤タイカウ ○築キツク ○要害ヨウカイ 雙堅固スウケンコ **四** 神戸カヌヘ ○港ミナト ○旅人リョウジン

兵庫ヒョウゴ ○外國ガイコク 貿易ボウエキ 輟道テウダウ 近江チカホ ○大津オオツ ○旅人リョウジン

往復ワウフク 物貨モノカ 運送ウンソウ 便宜ヘンイ 湊川ミナトガハ ○戰死セウシ 有馬アウマ

温泉オンセン ○海邊ウミヘ 須磨スマ の浦ウラ ○一谷イツタニ ○鶴越ツルゴシ ○物語モノガタリ

第九章 日本志の續

名義ナギ 位置チ 記臆キオク 特トク 隅クマ ○伊賀イガ ○伊勢イセ ○志

摩マ ○尾張ビ ○三河サンカ ○遠江エンカ ○駿河センカ ○甲斐カヒ ○伊豆イズ ○相摸サウモ

○武藏ムサシ ○安房アノ ○上總カミツツ ○下總シモツツ ○常陸トコグサ **五** 擁ヨウ ○山嘴ヤマヅメ ○巽タカサキ

突出トツシュツ ○一奇事イツキジ 蜃氣樓シヤンキロウ ○春夏シュウカ の交カウ 城シヤウ

市シ 樹林ジュリン 往來ワウライ 朦朧モウロウ 太神宮タイカンミヤ ○熱田ネツタ ○行幸コウキョウ 小

說シヨウダ 幽靈ユウレイ ○ 虛談ウソ ○

地チ 文學ガク イナトキタルガクモン 物理リ

學ガク モノゴトノダウリ 理リ ケ 三河灣ミカワノ

○ 遠州灘エンシュウノ ○ 清見瀉キヨミノ ○ 三

保松原ホシノ ○ 久能山クノノ ○ 薩埵サツタ

山ヤマ 弓形ユミノ 潮水ウシ 速ハヤ ○

六 相摸灘サイモノ ○ 三浦ミウラ ○ 房總フサウ

○ 波濤ハタウ 房州冲フサウノ ○ 鹿島灘カシマノ

○ 隔絶カクゼツ 海濱カイヒン 飛驒トビ ○ 美濃ミノウ

○ 險ケン ○ 碎片サイ 朝熊山アサクマノ ○ 彌ヨシ

○ 天龍川テンリウノ ○ 秋葉山アキハノ

七 大井川ダイイノ ○ 安倍川アンペノ ○ 巔タテ 消キユ ○ 烈レツ

○ 廣漠コウマク 草野クサノ 愛鷹山アイトウノ ○ 一大谷イチダイノ 繞ニグル ○ 金

峯ミネ ○ 八岳ヤツタケ ○ 白根シラネ ○ 大聲オホコエ 唵オン 呀ヤ 誤アヤマリ ○ 認トク ○ 天目山テンメノ

大山オホヤマ ○ 箱根ハコネ ○ 馬入川ウマノ ○ 天城山テンジノ ○ 海ウミ 迫セマ 極端キョクテン

石廊崎イシドウサキ ○ 岬ミサキ 八ヤチ 七島シチシマ ○ 大島オホシマ ○ 利島トシマ ○ 新島ニジマ ○ 式

根島ネノ ○ 神津島カミツノ ○ 三宅島ミヤケノ ○ 御倉島ミクラノ ○ 八丈島ヤチノ ○ 小笠原

島シマ ○ 小笠原貞頼オガサハラノ ○ 波浪狀ナミノ 平坦ヘイタン 上野ウエノ ○ 下野シノ

利根トネ ○ 坂東サカノ ○ 關東セトウ ○ 秩父山チチノ ○ 筑波チクハ ○ 鹿野カノ ○ 清澄キヨスミ

一簇イツソク 巨流キヨリウ 坂東太郎サカノタロウ ○ 關宿セキノ ○ 兩派リウハ 霞浦カスガウラ ○

大湖オホウミ 外洋ソトノ 江戸川エドノ ○ 遙ハルカニ ○ 泝ソコ ○ 天然テンゼン 精シヨウ 九ク 負ネ

○ 饒ニギハヤヒ 萬古燒マンコヤキ ○ 形紙カタミ ○ 津ツ 絞子シヨウジ ○ 瀬戸燒セトヤキ ○ 七寶燒シチホウヤキ

○ 鳴海絞ナリノ ○ 名古屋扇ナゴヤノ ○ 石腦油イシノウ ○ 推茸シイソウ ○ 駿府細工スズマノ

半紙ハンシ ○ 安倍茶アンペノ ○ 郡内絹織物グンノ ○ 水晶スイショウ ○ 枌カキ ○ 葡萄ブドウ ○ 鷹トウ

新撰地理小志 卷之二

上八



蜃氣樓

皮紙 ○八丈絹 ○捺引細工 ○貝細工 ○秩父 ○八王子

織物 ○川口鑄物 ○狭山茶 ○淺草海苔 ○房州沙 ○結

城木綿 ○紬織 ○鉦子縮 ○野田

醬油 ○流山味醂 ○行徳鹽 ○佐

倉炭 ○水戸銅器 ○九十九里濱

○鰯 ○東京 ○内外 ○象牙

○鼈甲 ○塗物 ○精巧 ○製造

品 ○廣垣 ○大都會 ○隅田川

○江戸川 ○學校 ○醫院 ○高

會 ○十路釋 ○何時 ○祭

○雷疑 ○無教 ○街燈 ○點

トモ 晝を欺き 田舎人 魂

ス



褌 ○天正の末年 ○武藏野 ○物寥しき ○荒野

○板橋 ○中仙道 ○驛口 ○千住 ○奥羽街道 ○品

川 ○旅行 ○路程 ○横濱 ○貿易 ○碓泊 ○支路 ○金

澤 ○横須賀 ○鎌倉 ○江島 ○造船場 ○風流人

好古家 ○小田原 ○箱根峠 ○駕籠 ○頂 ○誥 ○蘆

の湖 ○二子山 ○峭 ○早川 ○七湯 ○山間 ○暑を避

アツサチ 下田港 ○熱海 ○浮島原 ○清見潟 ○勝地

夕日 映ル 紫雲 ○躰 ○翠帯 ○三保の松原 ○煙

波 面白 ○鬱志 ○静岡 ○富士川 ○上流 ○甲

府 ○甲州街道 ○順路 ○宇都谷峠 ○日坂 ○天龍川

○濱松 ○迅流 ○河道 ○蓮臺 ○架 ○濱名 ○今

新撰地理小志字引 卷之二 上九

切の渡セキノワタリ○便路ベンロ○**三**岡崎オカザキ○興キヨウ○桶狭間ツクリマ○古戰場コシヤバ

シトコロ今川義元イマカワノヨシノブ○戦死セニシ一片イツペンの墓カバネ一ヒトツノハハ名古屋ナナカヤ

○熱田ネッダ○熱田神宮ネッダノカミヤ○桑名サナ○船路フナジ○間遠マヒの渡ワタリ○眺ナカ

○雙眸フタツメ○福田フクダ○前須マエス○木曾川キゾガハ○本道ホンミチ○風吹フクイき○

浪荒ナミアラる○四日市ヨリチ○鈴鹿峠スズカトウ○離サレ**五**安濃津アノウヅ○宇治ウジ○山

田タ○伊勢イセ太神宮タイカミヤ○賽者サイヤ○伊勢イセ參宮サンケイ○鳥羽トウ○風帆フウパン

船フネ○銚子チウシ○利根川リネガハ○水戸ミヅト○大藩オホキナダ○國府臺クニフタ

古城コジヨウ趾シ○成田ナリタの不動堂フドウドウ○盤城バンシヨウ○陸前リクゼン○濱街道ハマカド

名古曾ナゴソウの關セキ○源義家ゲンギケ○吹フクく風カゼをナこそノ關セキと思オモへ

とも道ミチをセしシ散チる山ヤマ櫻サクラうチふフンカゼノセキノナノヤウニグルナトチ

ト云フギナリト傳ツシヘ○誦シヨクズルソラン

第十章 日本志の續 東山道

近江オホミ○美濃ミノ○飛驒ヒ○信濃シノ○上野ウツノ○下野シノ○陸奥リクオ**五**出

羽ハ○奥羽オホハ地方チハ○岩代イハシロ○磐城イハシ○陸前リクゼン○陸中リクチュウ○羽前ハゼン○

羽後ハゴ○熟ツクシライレテン中央山脈チュウオウサンミヤク○高地コウチ御岳ミタケ○乘鞍セラン○立山タチヤマ

○戸隠トコグ○暑熱シヨネツの候コウ月光ゲツクワ○景色ケシキ○西山脈セイヤンミヤク○大

日岳ヒツツク○拔ヒキ○伊吹山イブキヤマ○横截ヨコキリ○東山脈トウサンミヤク○淺間山アサマヤマ○妙義ミョウギ

榛名シラネ**六**信濃シノ○神通シントウ○射水セツスイ○天龍テンリウ○木曾キゾ○飛驒ヒ○分

水嶺スイレイ○惠那岳エナノタケ○赤城アカシ○日光ニツコウ○那須ナス○陰寒インカン○次野ツキノ

深流シコウ○所謂ソウイフ○周廻シュウクワイ○瀬田川セタガハ○竹生島タケナシマ○奇景キケイ

○岩石ガンシキ島シマ潤ウルホス**七**佳ヨカレ○牡鹿オシカ○松島灣マツシマノワタ○斗南トウナン○津輕ツルギ○

西浦セイウ○畝ウラ○指ササ○俯フス○匍匐ハダカ○言辭ゴンジ○盡ツク○難カシ○松島マツシマ

○金華山キンカザン○孤峯コハツ○全山ゼンサン○沙磧サシキ○金色キンシキ○奥羽オホハ

山脈サンミヤク**八**限リミ○延ノビ○安達太郎山アタダタロウヤマ○藏王岳サウオウダケ○泉岳イヅミダケ○栗駒クリコマ

新撰地理小志字引 卷之二 上十

岳 ○御駒岳 ○岩鷲山 ○八甲

田山 ○太平山 ○岩木山 ○羽

越山脈 ○守門岳 ○御神樂岳

○飯豊山 ○朝日山 ○湯殿山

○月山 ○羽黒山 ○鳥海山 ○

大嶺 ○虚空藏山 ○院内嶺 ○

山頸 ○會津 ○米澤 ○最上 ○筑

波山 ○八溝山 ○関伽井岳 ○

靈山 ○早池峯 ○名久井岳 ○

六角牛山 ○崖 遠淺 ○獨立

脈 ○阿武隈川 ○遺 ○北上川

○廣瀨 平遠 三本木原 ○岩水川 ○庄内 ○

最上川 ○子吉川 ○御物川 ○能代川 ○長江 ○大

岳 廣野 産業 良地 寡 關 惜 造化主 豈

却 却 居民 利益 雪舟 器械 載 牽 働

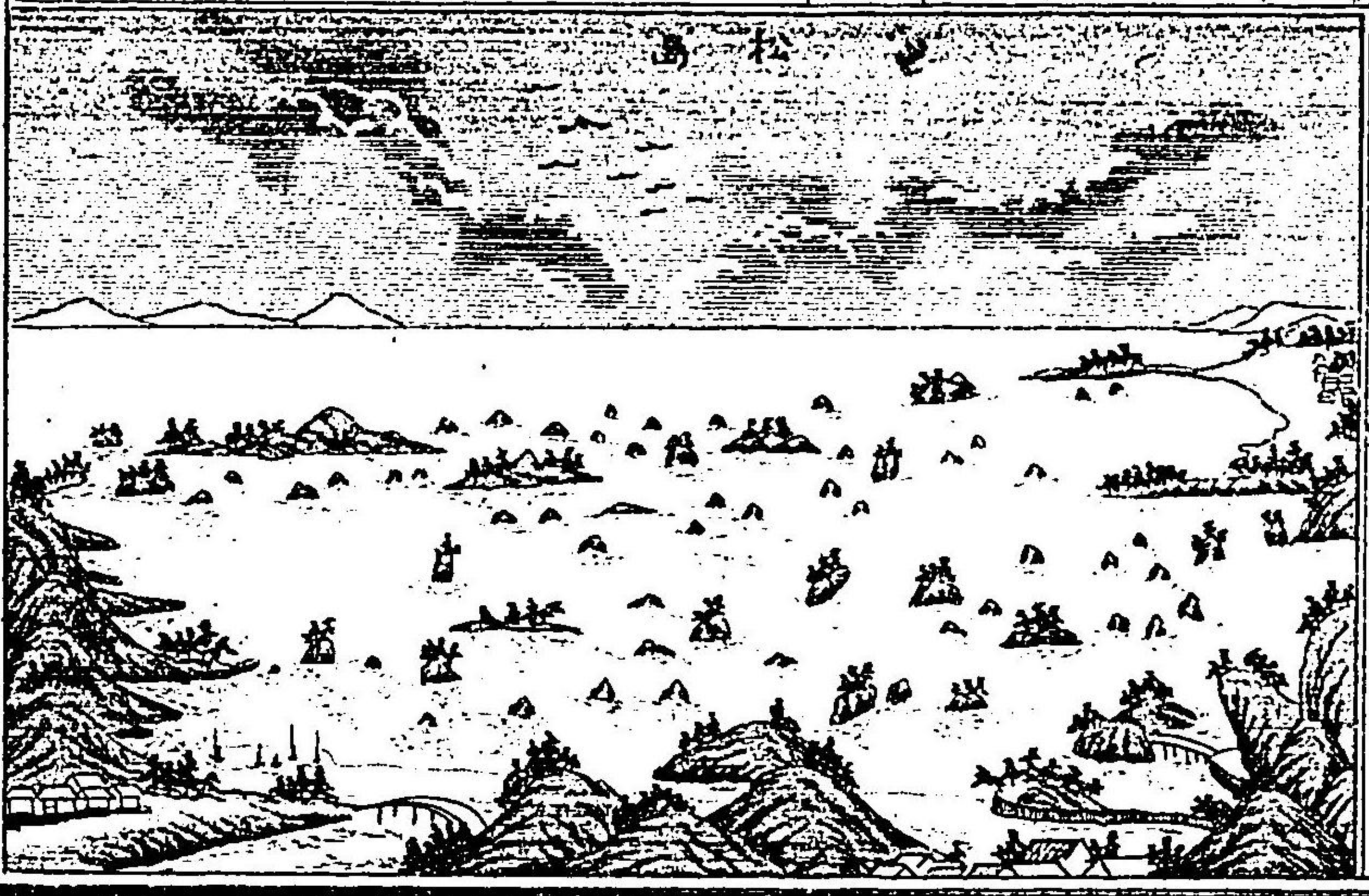
凍り 詰 何如 晒布 蚊帳 商賈 長け 美濃紙

深山 良材 輸 販賣 蕎麥 蠶桑 諸織物

富岡 製糸場 蠶種 牧馬 埋木 海參

仙臺平 南部 縮緬 山慈姑 大口魚 糸織 青苧

最上の紅花 能代塗物 秋田 蕨 米穀 礦山 半田 銀山 尾去澤 銅山 概略



大津○彦根○長濱○往復○三井寺○唐崎○堅田○

比良○粟津○石山○瀬田○矢走○幹○五尋○巨松○

草津○**三**記臆野洲川○依藤太○蜈蚣山○鳥居

本○山間○磨針峠○不破の關山○北國街道○蚕

井○大垣○養老瀧○洲股川○岐阜○細久手○琵琶

坂○坂本○難位山○高山**三**籠の渡○難所○大

繩○懸○道路の修理○行届○危嶮○十曲峠○

深澗○危岩○**瞰**○觸聲雷の如○十曲峠○

實る○鳥居峠○鹽尻峠○和田峠○諏訪の湖○鏡○

**三**姨捨山○田毎の月○上杉○武田○河中島○佛徒

山○火煙噴○發燒路傍○灰色散乱○内部

強盛○火氣○洩○碓水峠○奇秀○妙義山○榛名

山○高崎○三國峠○前

橋○熊谷○浦和○宿驛

西麓○入田澤○大

路を修め○宇都宮

○日光○**三**廟所結構

壯麗を極め○中禪

寺の湖○華嚴の瀧○裏

見の瀧○白坂○**三**白河

關○阿武隈川○白河○

二本松○福島○仙臺○

日光本社

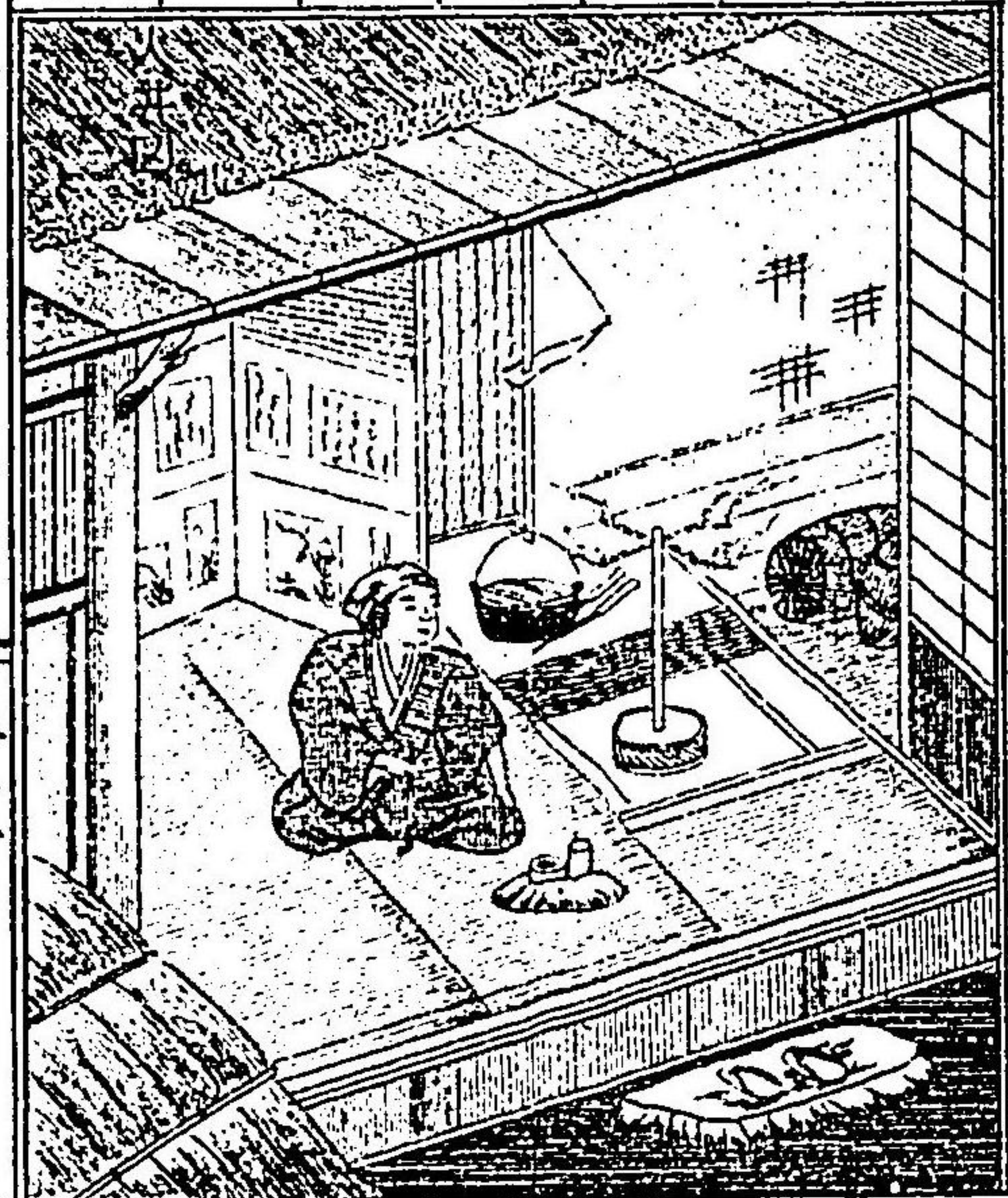


宮城野 ○多賀城 ○碑野蒜港 ○相馬 ○原町 ○牧場  
 衣川の柵 鎮守府 ○平泉 ○盛岡 ○中山 ○空曠  
 末の松山 ○山腹 海濤 浸蝕 痕 ○古歌  
 他日 野邊池 馬門 ○青森 ○要津 箱館港  
 弘前 ○勢至堂峠 ○湯入 ○若松 ○猪苗代 ○面積  
 盤梯山 ○米澤 ○板谷峠 ○輸出 平夷 山形 ○  
 笹谷峠 ○庄内 ○六十里越 ○清川 ○鶴岡 ○酒田 共御  
 物川 ○秋田 ○八郎潟 ○男鹿島 ○賞能代川 ○春慶  
 塗 ○了

第十一章 日本志の續 北陸道

若狹 ○越前 ○加賀 ○能登 ○越中 ○越後 ○佐渡 ○鋸

○小濱 ○敦賀 ○入江 ○大灣 七尾灣 ○珠洲岬  
 ○直線 中國 ○山彙 餘勢 漸低  
 く 舟橋川 ○木芽嶺 ○隔絶 支嶺 手取川  
 ○瀉 ○沼 白山 ○終歳 左右 迫 神通 射水  
 ○數條 迅流 立山 ○火山 火坑 方便  
 地獄 佛敎 現世 罪  
 を 犯 隨落 閻羅王  
 ○屬下 鬼 ○苛責 上越  
 後 ○燒山 ○妙香山 ○中越  
 後 ○下越 後 ○阿賀野川 ○  
 際 を 見 ず 彌彦山 ○八  
 千八水河 ○天然 奇觀





火井ヒノ地中チノ燈火トモ代カタ煮ニル法馬ホウバ兩邊リウベン

金北山キンキョウサン一層出入イツソウシュツニュウ地窖チカウ理リ簷エ雷國ライクニ

梢コサ雪片ユキカタ轉マユ大塊オホカタ歴殺レキツ春暖シュンヌイ俄トウ天産テンサン

物モノ鱉カメ鯨クジラ若狹塗ワカサマリ奉書紙ホウショシ奉

書紬ショチュウ九谷焼クニヤキ加賀絹カガキヌ象眼細工ゾウガンコウ輪島塗リンジマナリ銅鐵ドウテツ

器キ吳郎丸布ゴロウマルヌ越後縮エチゴチヂミ五泉平ゴクワンヘイ舉アゲ亞ア堀り

採ト小千谷コチヤ反覆フクク勝區シヨク摘説テツ疆キョウ

域イキ小濱コハマ外面ウツタ重要チュウヤク船舶センフネ企キ刀根越タノネゴ湯尾ユウビ

峠ツツ舟橋川フネハシカハ足羽川タシロガハ福井フクイ奇巧キコウ里許リキョ

九頭龍川クダウリウカハ新田義貞ニウタノヨシサダ藤島神社フジシマジンジャ建タテ坂井港サカイノミナト熊

坂越サカゴ大聖寺オホセイジ藍アイ小松コマツ景况ケイキョウ尋常ジユウ比ヒ金石キンシキ

矮船ワカフネ輪島リンジマ七尾シノ良泊地リョウハクチ風景フウケイ富トモ

伽羅俱利峠カラククリツツ水曾義仲ミヅソウノヨシナカ平氏の軍ヘイシノイクサノイクサ天田越テンテンゴ

新道ニウミチ便オカフテ高岡タカオカ神通川シントウカハ魚津港イサツノミナト富山トヨヤマ激浪ゲキナミ

捲マキ崖腹カキハツ洞穴クツ穿ウラ避サゲル待マツ藍アイ親子尙相顧オヤコノナカニカミカミ

親不知オヤコトモ關川セキガハ直江津ナカエツ半國ナニクニ魚鹽イサシホ

信州街道シノホカハ高田タカタ春日山カスガヤマ上杉謙信ウエスチノケンシン米山メヤマ

越コト寺泊テラトマリ彌彦山ヤヒコヤマ新潟ニウガタ長岡ナガオカ通航ツウカウ新發田ニウハツタ

村上ムラカミ蠶關サニカミ三條サンジョウ三國峠サンクニツツ三國街道サンクニミチ藍アイ臭水シメツ

油アブラ涌ウツ石腦油セキノウ小木コキ相川サウカハ

第十二章 日本志の續 山陰道

丹波タニハ丹後タニゴ枕マク但馬タニマ因幡インハン伯耆ハクケ出雲イツクニ石

見ミ隱岐インキ舞鶴マヅル入江イリエ與謝ヨシエの海ノウミ沙嘴サヅ

殆オホ横截ヨコキリ天の橋立アモリノハシタテ勝カチ幾株青松イツササノマツ交マシ

夜見濱○島根 中海○権○著○  
 岬灣○四境○圍桂川○大  
 川○大江山○深山 源頼光  
 ○鬼賊 事蹟 特 世 顯  
 由良川○由良湊○  
 單 蟠○冰山○大山○溪間  
 船通山○鳥上山○簸川上○上  
 古 素戔嗚尊○稻田姫○八  
 岐○大蛇○斬○天叢雲の釵○  
 限界 城寄川○賀露川○日野  
 川○簸川○島根○宍道の湖○  
 削○岩礁 相望○嵯峨  
 相望○嵯峨  
 茨 雜木ノキ



葦草 田畑 道路 三瓶山○江川○水源  
 舟運 島前○總稱 知夫里○中島○西島○島  
 後○大満寺山○悉 溪流 稍 積雪 生野○産出  
 雲霧 肥沃 瘠薄 煙草 撰糸○生野○産出  
 量 夥 出 陶器 豊岡 柳行李 人參 輸出  
 白珊瑚 十六島海苔 蜜柑 名 奇品  
 八畳敷 塞 半紙 貧人 甘薯 藤 蜂蜜 魚  
 産 神代 口 碛 存 曾 漂 大繩 張 繫  
 留 神門 地 頸 由 縁 試 亀岡 福  
 知山 保津川 福知川 山坂 河守 内宮 外宮  
 元伊勢 賽客 早舞鶴 入江 底 宮津 外  
 海 龍宮 浦島子 山坂崎 峯 經 上尾  
 斤 巽也里

峠 ○便路 湯島 ○温泉 山脚 往往 馬車 輕

堪 鳥取 ○因幡山 ○安倍神社 ○題詠 畢竟 輕

沙 脚を没 行歩 艱 打寄 ○汀 ○撰 通過

東境 東郷の湖 聖 旅店 宿 ○游泳 釣 ○船上

山 ○名和長年 ○後醍醐帝 ○館趾 墳墓 ○米子 ○

境 ○安來 ○天狗山 ○熊野社 ○松江 ○芥 ○想 ○清潔

甘薯代官 石碕 日御崎 ○平時 寂寥 甘薯

平左衛門 ○耕作 聖 獎 ○業 徳 懷 紀念碑 井戸

濱田 ○津和野 ○歌仙 人丸 ○高角山 ○床浦 ○嶮

岨 疎 西郷

第十三章 日本志の續 山陽道

播磨 ○美作 ○備前 ○備中 ○備後 ○安藝 ○周防 ○瀬

戸内海 ○長門 ○明石 ○鳴門 ○速吸 ○早鞆 ○通路

通常海峡 ○八代 ○倉橋 ○江田 聖 小豆島 ○星 ○絶佳

北境 絶間 ○帆前船 點粧 筆紙 趣 相友

加古川 ○揖保川 ○東大川 ○西大川 ○河邊川 ○浴水

聖 吉田川 ○葦田川 ○太田川 ○御神山 ○鬼橋 ○滑山

幽深 繁茂 岩國川 ○錦帯橋 ○一位岳 ○奥峻

萩川 ○嚴冬 矮 ○隣 ○鬱蒼 楮山 多量

聖 蠟石 ○赤間の硯 ○革細工 ○赤穂鹽 ○龍野醬油 ○

雲齋織 ○三備 蘭蓆 ○備後表 ○伊部 ○鞆津の

酒○麻布○岩國縮布○縮木綿○牡蠣田

繁殖○關○旅行○須磨○

濱傳○白沙○舞子濱○

明石○加古川○高砂○石

寶殿 巽石室 奇談

虚誕 市川 姫路 要路

一座の峯 書寫山

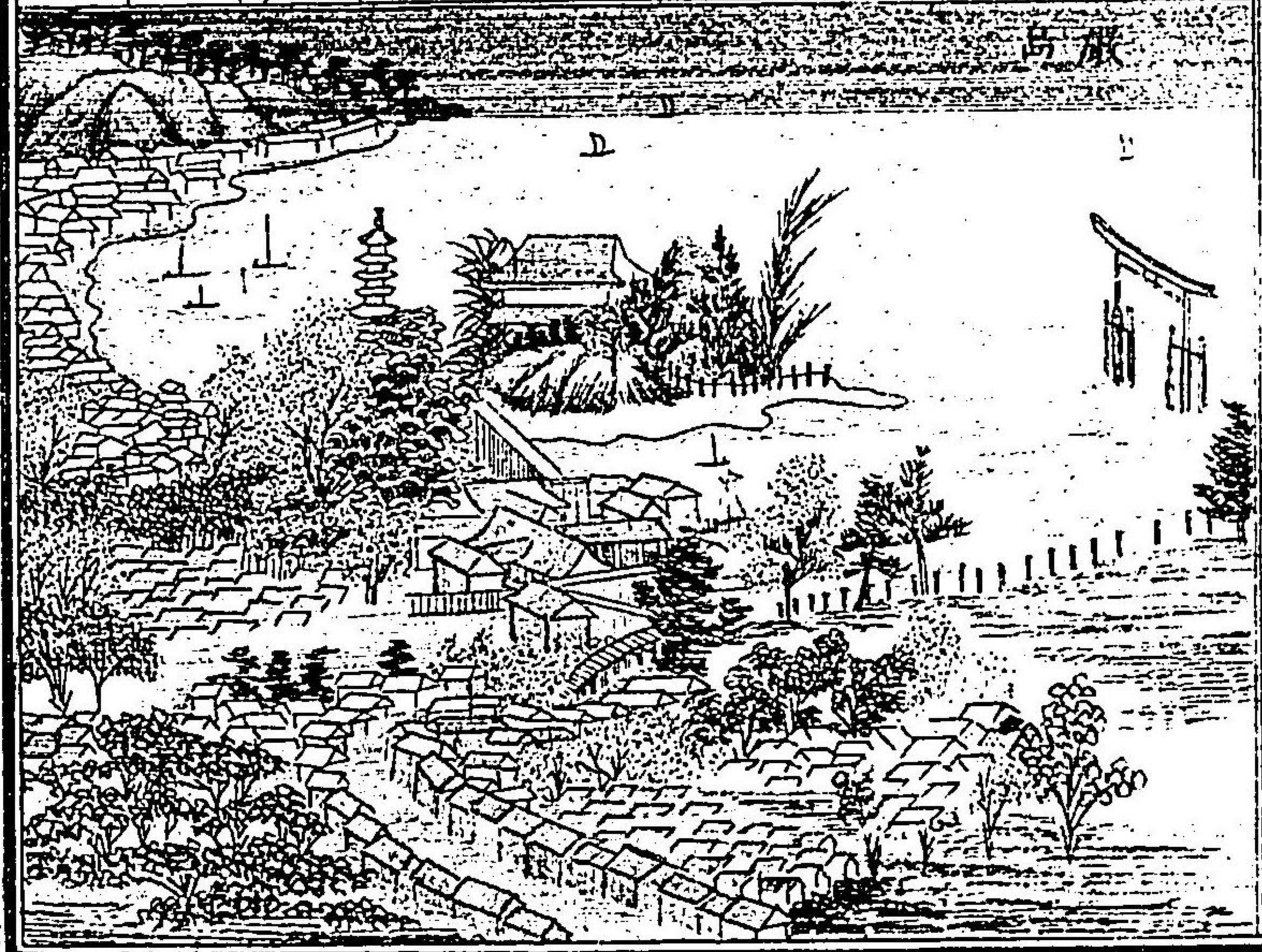
室津 津山 久米四山

四十曲峠 想像 推

舟坂 岡山 兒島 藤戸

の渡 源平 佐々木盛

綱 騎渡 海峽



塞 吉備の中山 祀 宮内 福山 尾道 中國

路 困 天神岳 大土山 野呂山 廣島 誇

四十八坂 修 繕 巽巖島 市杵島姫 神殿

廻廊 四邊 眺望 岩國 金明寺峠 徳山 宮市

天満宮 筑前宰府 山口 萩 赤間關 掲 人

車 奇秀 右田岳 山峽 一坂 萩川 巽山溪

下關 壇浦 平家蟹 奇異 一介 蟲 文

久三年 長州侯 合衆國 佛蘭西 軍艦

第十四章 日本志の續 南海道

離 餅 磬 靴 淡路 阿波 讃岐 伊豫 土

佐 包 大塔峯 高野 金剛峯寺 杉 槇 巨樹

生茂 幽邃 宏壯 成川 季紀川 潤 潮岬

生茂 幽邃 宏壯 成川 季紀川 潤 潮岬

由良○友島○田畝○石鏡○矢筈○白髮○吉野○

仁淀○高度○峨然○劍山○室戸崎○吉野川○石

鏡山○野間○**至**道後○宇和○高知○唐岩山○野根山

○四萬十川○相錯○佐田山嘴○串○蹉跎○一大灣

○大鳴門○小鳴門○渦○鳴門

略○殊方○**至**廻○温暖

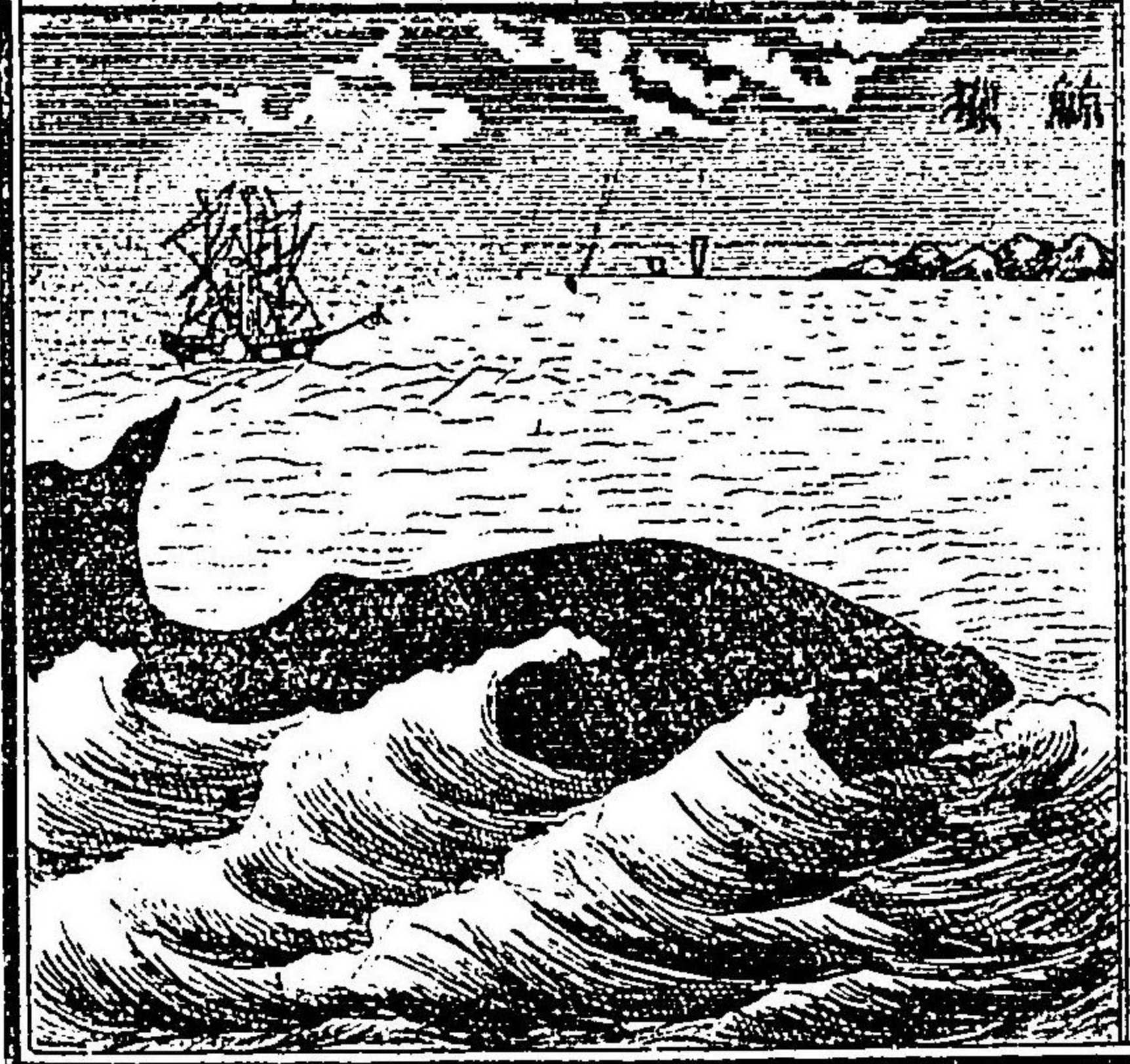
較○寒冷○**至**遍○培養

○砂糖○堅魚○蒸○乾○堅

魚節○販○轉○熊野○泉州

路○**至**隘○艱○人家

當○鞋○熊野の社○那智の



瀧○雙魚○壯觀○新宮○開瀾○和歌山○市街

賑○和歌浦○洲崎○玉津島○紀州富士○龍門山○

粉川寺○**至**田邊○僻○層○困難○孤立

船○復說○要○德島○志度○多度津○便宜

德帝○**至**高松○丸龜○五振の劍○五劍山○屋島○崇

○靈異○櫻三里○主要○一變

路○腹庖刀○急嶮○腰○革○彎形

筑前○筑後○豐前○豐後○肥前○肥後○日向○大

隅○薩摩○二島○**至**壹岐○對馬○琉球○版圖

筑紫○彼杵の八江○筑紫瀉○開聞崎○佐多岬○

第十五章 日本志の續 西海道

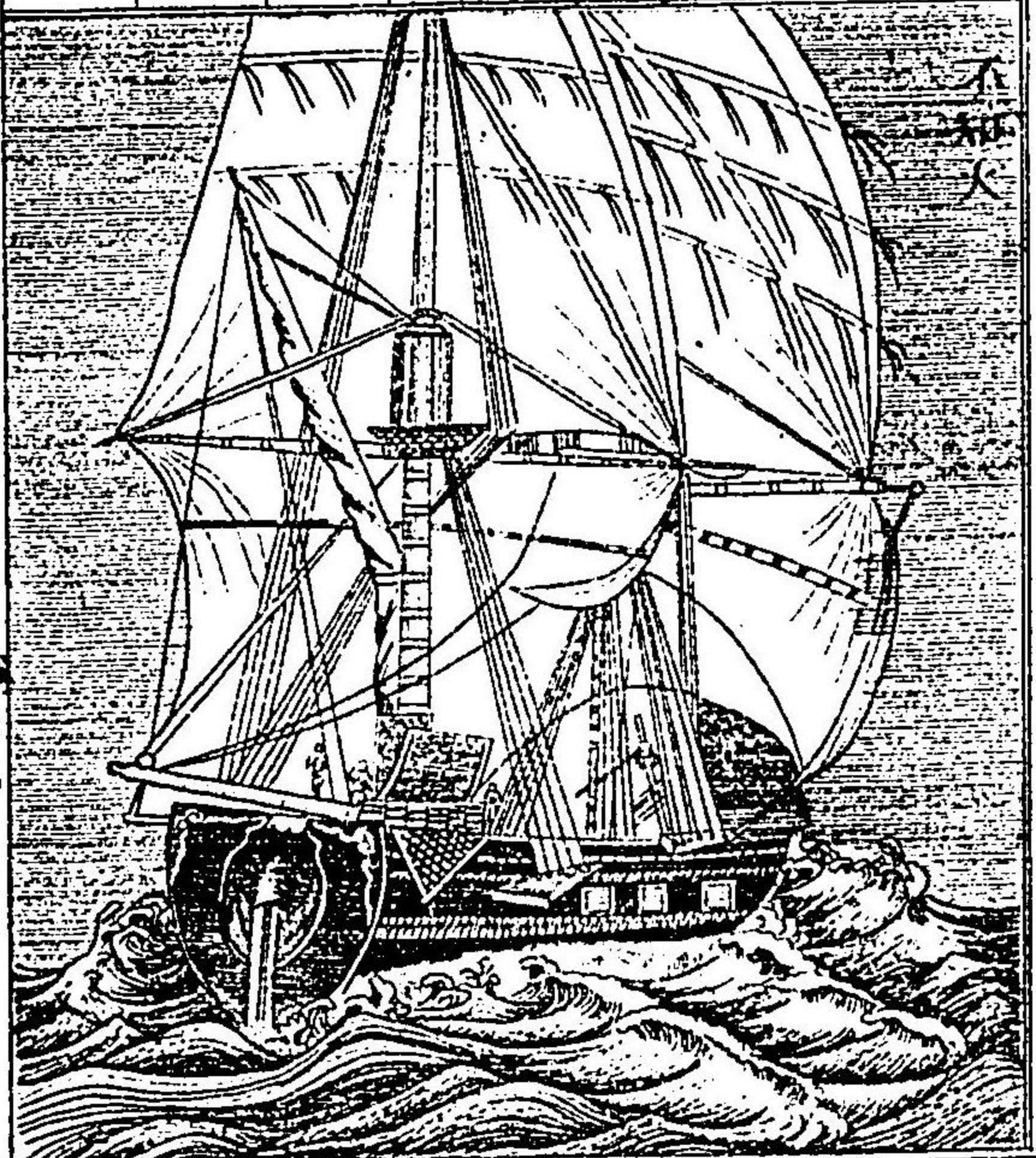
筑紫○彼杵の八江○筑紫瀉○開聞崎○佐多岬○

隅○薩摩○二島○**至**壹岐○對馬○琉球○版圖

筑紫○彼杵の八江○筑紫瀉○開聞崎○佐多岬○

鹿兒島○國東の頭○平戸○五島○天草○種子○屋  
 久○赴○多良岳○島原○温泉岳○英彦山○筑後川  
 ○阿蘇山○祖母山○國見岳○**毛**由布岳○球摩川○  
 大野川○五箇瀬川○大淀川○霧島山○高隈岳○開  
 聞岳○川内川○鹿兒島内海○櫻島○御岳○全島○  
**美**隨○昇降○**熟**比カク較ク農夫フ昇ヒ矮ヒ茅屋ワラ  
 貧寒マツ士族ゾク○富裕ユタカ常食ツネニク高島タカシマの坑アナ檀キ植ウツ○  
 赤松○國府○煙草○博多織○小倉織○有田○伊萬  
 里○七島○七島蓆○精巧を極めキハメ**美**漁ウナ獵ケ○東  
 獵リ薩摩サツマ認ガセ○薩摩上布○例レイ早ハヤ鞆トの瀬戸○東  
 街道○西街道○中津○宇佐八幡○黒崎○寒水峠○  
 嶮路クワシキ山家○長崎街道○岐○博多の港○福岡○

海の中道○箱崎○太宰府○管原道真○天満宮○佐  
 賀○屈指ユビ**卒**諫早○日見峠○長崎○秀麗イ樓閣カク○  
 解ワカ羅紗○金巾○唐物○需用モトメ供キヨウ猥ヘソナ○金錢○  
 賀○昔ムシ緊要キョウヤウ暇ヒマ筑後川○屏風○屏風山○久留  
 米○柳河○**空**經過スグ  
 白川○熊本○加藤清正  
 ○壯固ツヨク西郷黨○攻ヨウ  
 圍イ兵燹ヘイセン罹カ舊觀キウケン  
 復カヘ○廣坦ヒロク稻田イネ  
 彌ヨシ○阿蘇山○温泉  
 岳○宇土○八代○沿道  
 奇事キコト海百ウチヒャク閣カク



新撰出雲川... 卷之二

夜鮮波間閃光彩蒼天燐光螢

小動物 鹿兒島 大里 居城 薩川 文久 櫻島

吉利 軍艦 戰を交へ 國府 福山

鬱蒼 掩 御岳 都城 宮崎 神武帝 高鍋

延岡 高千穂 天岩戸 難路 赤松谷 嶮隘

大野川 大分町 著名 難所 金越 宇佐 胸

野菜 食膳 粉 蕎麥 煉 黒色の味噌

寒僻 嚴原 鰐浦 朝鮮 羣島 風静

波穂 大島 沖繩島 先島 喜界 加計 呂麻 徳

島 永良部 首島 惠平屋 慶良間 久米 屬

宮古 石垣 入表 與那國 臺灣 位置 風

土 褊小 冰雪 菊花 梅 各

地 芭蕉 蘇鐵 檄欄

椰子 阿咀呢 急雨 禾

倒 患 耘 收 棟

常食 蔽 纏 食料 落

花生 細上布 芭蕉布 泡

盛酒 疊表 中山王 領

兩屬 言語 首里 那霸

第十六章 日本志の續 北海道

蝦夷島 津輕 潮流 躰 寡 窠窟ス 開拓 渡

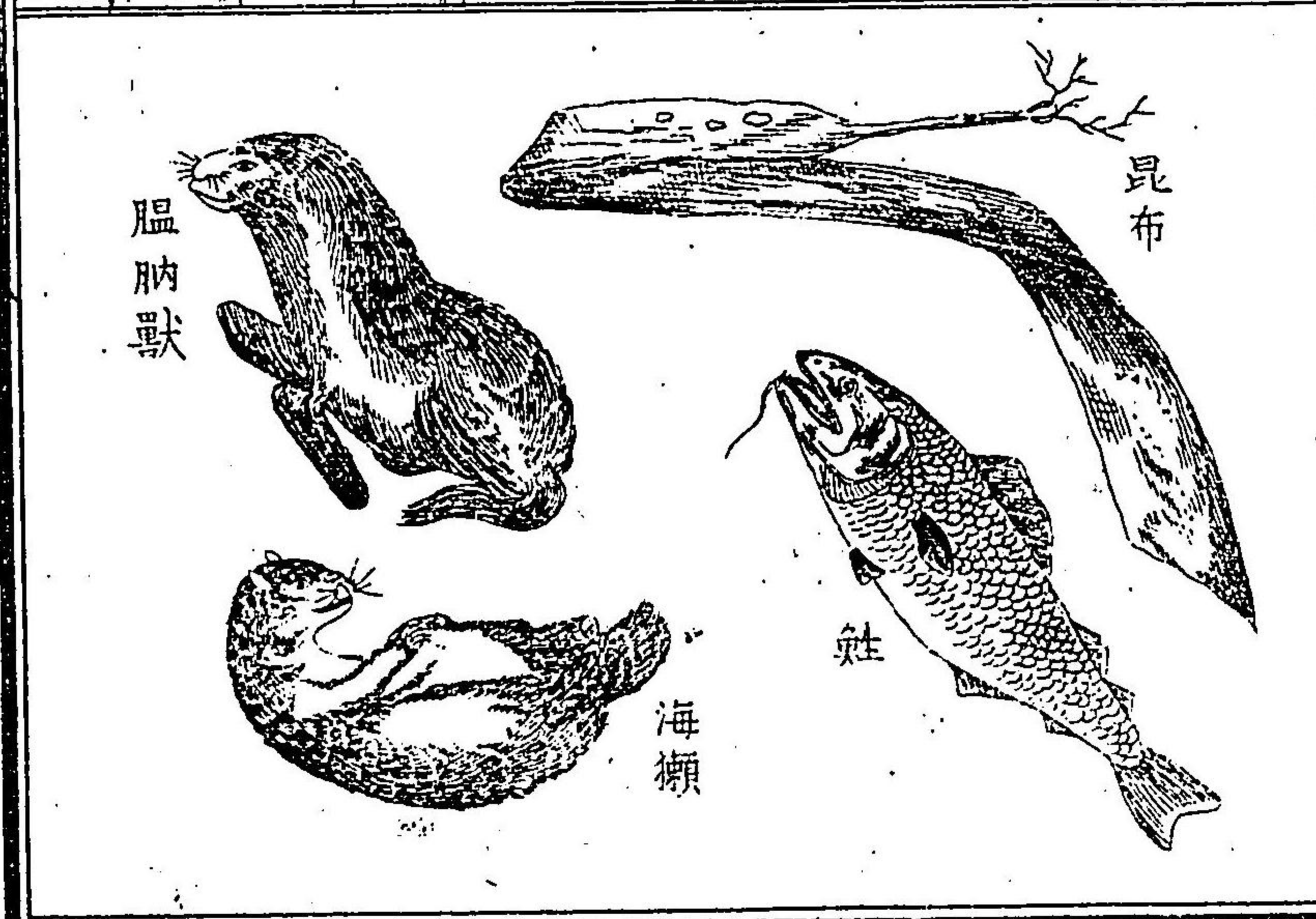
島 後志 石狩 天鹽 北見 膽振 日高 十勝



新撰出雲川... 卷之二

二十

○釧路○根室○稜形宗  
 谷○知床○納沙布○襟裳  
 ○噴火灣○口蝦夷○奥蝦夷  
 ○襟裳崎○地質  
 當○石狩岳○十勝岳○夕張岳  
 ○石狩川○激流  
 兩際○森林○生活寶  
 捨○果○武藏野○後方羊蹄  
 ○札幌○後志川○平行岳  
 ○天鹽岳○目梨○雄阿寒岳  
 ○雌阿寒岳○阿寒○久



摩川○西別川○樽○踏○暑氣  
 青魚○鰯○海扇○昆布○腥膻獸  
 ○海豹○海瀨○鹽引○臘乾○罐詰○質○幌内  
 ○空知川○茅の澗○石炭坑  
 ○檜○檜○落葉松○良材  
 熊○鹿○野獸○鷹○鷲○鷲鳥  
 髪を被リ  
 傍○臂○魚肉  
 陋穢  
 茅屋  
 言語  
 一種の方言  
 開拓使  
 村落中  
 會館  
 ○往時○松前○札幌街道  
 ○内浦岳○右傍  
 森の港○室蘭○苫小牧  
 ○江別の谷○林莽  
 要街  
 留越○邑間  
 厚岸○牡蠣  
 採○荒寥の境  
 江刺



○熊石 ○岩内 ○小樽 ○雷電 ○余市越 ○小布伊越 ○宗谷 ○嶮岨 ○柔弱 ○書生輩 ○憐 ○國後 ○擇捉 ○得撫 ○新知 ○幌筵 ○占守 ○冰塊

第十七章 日本志の結尾

暫 勉 ○直徑 ○音信 郵便 ○電信 ○航海 ○社

中 僅 ○切手 ○脚夫 ○雇 ○書状 ○此處 ○彼處 ○瞬

間 三菱社中 ○陸路 ○燈臺 ○方向 ○必要 ○遠隔

府廳 ○縣廳 大政府 遠隔

管理 指圖 ○政令 ○施行

東京府 大阪府 京都府 兵庫縣 堺縣 神奈川

縣 埼玉縣 千葉縣 茨城縣 山梨縣 静岡縣

愛知縣 三重縣 滋賀縣 岐阜縣 長野縣 群馬縣

縣 椽木縣 福島縣 宮城縣 岩手縣 青森縣

山形縣 秋田縣 石川縣 新潟縣 島根縣 岡山

縣 廣島縣 山口縣 和歌山縣 愛媛縣 高知縣

福岡縣 大分縣 長崎縣 熊本縣 鹿兒島縣

沖繩縣

住所 一小隅 小配法 餘地

新撰地理小志字引二卷終

明治十八年三月 版權免許  
同 年四月十日 刻成發售

定價十二錢

京都府平民

編輯兼  
出版人

長谷川福太郎



上京區第廿四組福屋町  
北一番戸ノ内第貳号

大阪心齋橋通安堂寺町南八入

田中 太右衛門

專賣

同心齋橋通安土町北八入

華井 卯助



書肆

同心齋橋通順慶町北八入

此村 庄助



